

公共事業新規事業評価調書(県土整備部)

課室名	道路保全課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	道路保全課長 竹谷 徹 (土居 康成)	内線	4 3 8 9 (4 3 9 9)
-----	-------	---------------------	------------------------	----	------------------------

事業種目	交通安全 施設整備	事業名	事業区間	総事業費	約3.0億円 (うち用地補償費 1.0億円)
		特定交通安全施設 等整備事業 (国)175号	氷上郡春日町七日 市		
所在地				着工予定年度	完成予定年度
氷上郡春日町野村				平成16年度	平成17年度
事業目的			事業内容		
交通安全対策 ・国道175号は相当区間にわたり休憩施設がなく、北近畿豊岡自動車道の供用(H17.4予定)により、今後夜間運転、疲労運転等による交通事故が多発する可能性があるため、駐車施設を設置することにより交通安全対策を推進する。			簡易パーキング A=約4,900m ² (駐車台数42台、トイレ13器) (仮称)道の駅「かすが」として地域振興施設と一体整備 総事業面積A=約26,000m ²		
評価視点					
(1)必要性 快適性・ゆとり		交通安全対策の推進 ・自動車交通量が多い(14,635台/日) ・夜間事故が多い(過去5年間合計事故件数44件うち20件が夜間) ・他に休憩のための駐車施設が相当区間にわたり整備されていない道の駅として機能を充実 ・高速道路と一般道路との結節点 ・春日IC(北近畿豊岡自動車道 H17.4供用開始予定)に隣接しており、但馬方面、京阪神方面、北陸方面の分岐点に位置するロケーション ・道の駅として地域振興施設と一体的に整備することにより単なる「休憩」だけでなく「情報交流」「地域の連携」の機能を付加する ・提供サービス:24時間利用可能な駐車場・トイレ・電話の確保 駐車場110台(うち身障者用3台) トイレ23器(うち身障者用2器) (女性、乳幼児、高齢者、身体障害者に対する配慮) 電話1台 ・道路情報だけでなく地域や観光の情報も入手できる情報提供システムを設置予定 ・発掘体験のできる七日市遺跡公園と一体となった施設計画 その他 ・春日町からは、簡易パーキングの整備と「道の駅」の登録に対し強い要望がある ・同時に国道175号においても交差点改良を行い休憩施設へのスムーズな誘導に努める ・平成18年度開催されるのじぎく兵庫国体会場(高等学校軟式野球)へ、京阪神、但馬地域から来場する人の休憩施設が確保できる			
(2)有効性・効率性		・夜間運転、疲労運転による事故の危険性が減少 ・道路交通の安全かつ円滑な流れを確保し、道路情報のみならず、地域の歴史・文化・産物等や観光の情報を提供することができ、利用者の利便性に大きく寄与する ・円滑な用地取得に向け春日町と用地取得体制に関する協議済み ・七日市遺跡発掘調査について教育委員会と調査予定に関する協議済み			
(3)環境適合性		・歩道や駐車場と建物を結ぶ通路に透水性舗装を採用することにより、雨水の地中への還元が図れる			
(4)優先性		・当路線は自動車交通量が多いにもかかわらず、相当区間にわたり休憩施設がない状況である。 ・単なる「休憩機能」だけの駐車場ではなく、「情報交流」「地域の連携」の2つの機能を付加し、道路利用者の利便性向上と交通事故の危険性の削減を図るために、簡易パーキングを早急に整備する必要がある			